

第4回（仮称）次期平塚市総合計画策定委員会における意見とその対応

NO.	ページ		該当箇所	内容	対応
	新	旧			
意見を受け、1次素案を変更した事項					
1	10	10	序論	将来都市構造図にある情報発信を示す「波」について、注釈や凡例での説明を加えた方がよい。	波のデザイン（扇状の図）の説明として、注釈に「海業の拠点や災害時における海上輸送基地」と記載しました。
2	10	10	序論	将来都市構造図にある文字、例えば、南北都市軸が見えにくい（読みにくい）。	南北都市軸のデザインの色合いやサイズなどを変更しました。また、解像度が変更できたため、以前より鮮明になったと考えます。
3	13	13	序論	最新の統計データと承知はしているが、それでも2016年のデータは古すぎるのではないかと。	経済センサスー活動調査に基づき作成している産業のグラフを、2021年の最新データに修正しました。
4	16	16	序論	高齢者の定義は65歳のままで良いのか。国の定義は変わっていないが、高齢者本人たちは70歳でも高齢者とは考えていない。これからは、そういった認識を持つことが必要ではないかと。	人口減少社会への対応の項に「人生100年時代」において、平均寿命・健康寿命が延伸している中、旧来の認識にとらわれない高齢者像を前提としていく必要があります。」と記載しました。
5	26	25	序論	D X（デジタル化）、G X（脱炭素化）という記載とデジタル化（D X）、脱炭素化（G X）という表記が混在している。また、D Xの「X」はトランスフォーメーション（変革）であり、言葉の定義づけに気を付ける必要がある。	D X（デジタル化）、G X（脱炭素化）と記載した上で、注釈を加え、用語解説で説明します。
6	32	30	重点戦略	指標「保育ニーズに対する充足率」について、一般的には、定員充足率というはず。また、例えば、幼稚園世代（3～5歳児クラス）の充足率をあげても保育園経営にはそれほど寄与しないばかりか、私立幼稚園との競争を生むことになるがよいのか（私立幼稚園は園バスを独自運行させて広域に園児確保を図っている）	少子化の進行を踏まえつつ、保育ニーズに対する受入可能人数を整えていくことを意図しています。このことから指標名を見直し、「保育所等申込者に対する受け入れ可能人数の割合」としました。さらに、重点戦略1には「保育所等の待機児童数」も追加しました。
7	35	30	重点戦略	環境教育や情報リテラシーの取組が記載されているが、ここに位置づけられることに違和感がある。	脱炭素化を推進する上で「環境教育」は必要な取組と考えられるため、分野別施策1- に記載しました。「情報リテラシー」は、「ICTを活用した多様な子どもたちに寄り添った学びの保障」に見直しました。

第4回（仮称）次期平塚市総合計画策定委員会における意見とその対応

NO.	ページ		該当箇所	内容	対応
	新	旧			
8	35	33	重点戦略	職業体験は全ての学校で実施しているわけではないので、ここに位置づけられることに違和感がある。	「児童・生徒の社会参画意識の醸成」に見直しました。
9	45	43	重点戦略	デジタル化・脱炭素化の取組と具体的な取組の記載が多すぎるため、絞り込む必要があるのではないかと。	防災、避難、耐震、浸水の4つの分類に整理して、表現をまとめました。
10	46	44	重点戦略	人口密度を指標にあげているが、駅周辺の将来構想では、人を集めていくという方向性にない。また、エリアをどこまでにするのか難しい面があるのではないかと。	分野別施策に位置づけた指標の再掲になりますが、「平塚駅周辺における共同建て替えの相談件数」としました。
11	53	29	重点戦略	戦略名に「環境」が使われているが、分野として環境の印象を受ける。特に、重点戦略1では、具体的な取組に「環境教育」もあるので、余計に印象が残る。	学校において環境を学ぶ機会を充実することを意図しているため、「環境教育」は変更しないこととし、分野別施策1- に記載しました。
12	55	53	分野別施策	指標にあるトイレの洋式化は、2029年で一旦目標が終わる。2031年の目標をどのように記載したら良いかと。	市長公約にも記載があることから、2031年の目標値に2029年の目標値を記載し、2029年に達成期限となる旨の注釈を入れました。
13	67	64	分野別施策	男女共同参画プランも今年度見直しをしているので、総合計画の取組にも記載できると良い。	男女共同参画プランでは、ジェンダー平等に関する取組を強化していることから、分野別施策3-では取組方針の記載方法を改めました。また、重点戦略1-(2)の基本的な方向性には「男性の家事・育児」、主な取組には「男性の育児休業取得」に関する記載を入れたほか、重点戦略の数値目標に「育児・子育ては、夫婦同じくらい分担していると回答した割合」を設定して、内容の整合を図りました。
14	68	66	分野別施策	文化交流においてカウナスをどこまで記載していくか。現在、記載はないが、どこまで記載するのか。	「現状」に「新たな姉妹都市提携により、市民交流の機会が創出されています。」を追記しました。
15	71	69	分野別施策	デジタル化の取組に、ちいき情報局の活用とあるが、主語は何か。地域住民であれば、活用の支援や活用の促進との記載が適切ではないかと。	「ちいき情報局の活用促進」と記載しました。
16	77	75	分野別施策	指標に防災訓練の実施回数をあげているが、訓練に参加した団体数にするか検討中となっている。	「防災訓練実施団体数」と記載しました。

第4回（仮称）次期平塚市総合計画策定委員会における意見とその対応

NO.	ページ		該当箇所	内容	対応
	新	旧			
17	89	87	分野別 施策	指標に人口一人当たりの公園面積をあげているが、人口減少が進むので、何もしなくても、この数値は上昇していく。指標として位置付けて良いか。	削除しました。 なお、「市民団体による緑化推進や公園管理に携わる活動回数」を新たに記載しました。
18	90	88	分野別 施策	目指す姿に敏しょう性（アジリティ）とある。アジリティは不要ではないか。総合計画に記載される内容は議会でも使われる。議会で使えない表現（＝アジリティ）は記載しない方が良い。また、課題にある「DX、GX」の記載は「デジタル化、脱炭素化」で良いのではないか。	「アジリティ」の削除、また、「デジタル化、脱炭素化」と変更しました。
19	-	-	全体	SDGsローカル指標（に関連した指標）が少ない印象がある。（当時の28ページ、2次素案の27ページ）下段にある書き込みを見ると、もっと多く位置づけられる印象を受け、違和感がある。定性的な目標値を持つ指標が浮いてしまわないか気になる。	指標については、引き続き、検討を進めていきますが、現時点では、御指摘のような実態にあるため、27ページ下段に「一部に導入」する旨、追記しました。また、分野別施策の表紙に指標の考え方を記載しました。併せて、指標の考え方のみ記載すると、バランスが悪いため、分野別施策に記載された各項目の構成を説明します。
20	-	-	全体	色合いが気になる。特に白抜き文字については、見えにくい。弱視などの方たちに配慮した見せ方に注意する必要がある。	グラデーション効果の色合いを薄くして、文字を白抜きから色付きに変更しました。なお、右ページのインデックス欄にある白抜き文字は、現在どのページを見ているのか目立たせる（対象外の項目は見えにくくする）意図があるため、このままとします。
21	-	-	全体	英語表記のあとに（ ）書きでカタカナ、あるいは、その逆となっている箇所がある。統一しておいた方が良い。	御意見を踏まえ、統一しました。
22	-	-	全体	注釈の入れ方「 」「 1」「（ ）」など統一されていないため、整理すること。	ページ内解説の注釈は「 1」「 2」などに統一しました。なお、指標の注釈は「 1」とし、用語解説に記載する注釈は「*1」としました。
23	-	-	全体	各部ごとに、とりまとめをしているため、全体を通すと、書き込み具合に濃淡がある。できれば、みんな前向きな姿勢で濃淡が揃っていくと良い。	全般的に担当部局と調整しました。まだ、濃淡があると思いますので、引き続き、担当部局との調整を進めます。

第4回（仮称）次期平塚市総合計画策定委員会における意見とその対応

NO.	ページ		該当箇所	内容	対応
	新	旧			
意見をいただいたが、1次素案の変更に至らなかった事項					
1	11	11	序論	子どもを持たない理由のグラフについて、（課題認識を示したいのだから）総合計画としては夢がない印象を受ける。一方で、これはこれで載せておく必要があるとの意見もあり。	課題認識を示すため、現行のままとします。
2	67	65	分野別 施策	指標に審議会等における女性の割合をあげているが、ここだけ性別を記載している。ジェンダーという方向性と合わないのではないか。	審議会等における女性の割合が低いことが課題であると認識しており、あえて「女性」と記載しています。
3	73	71	分野別 施策	指標に文化芸術ホールの主催事業の参加者数をあげているが、文化芸術ホールだけが文化を表しているものではない。	新しい文化芸術ホールが文化の拠点として有効活用されることを強調するため、指標として残します。